

## 平成26年度 第1回経営学教育FD／ICT活用研究委員会 議事録

- I. 日時 平成26年4月18日(金) 14:00から16:00
- II. 場所 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者 佐々木委員長、宮林委員、岩井委員、寺澤委員、雑賀委員、日置委員  
事務局 井畑事務局長、森下

### IV. 資料

資料① 平成26年度活動計画

資料② 対話集会に関する検討事項(メモ)

資料③ 対話集会実施に向けた検討事項について

資料④ 現在の授業で顕著な効果を上げている事例

参考1 用語集

参考2 アクティブラーニング事例集 長崎大学 大学教育機能開発センター

参考2.1 数理と自然科学のススメ 長崎大学

参考3 長崎大学 大学教育機能開発センター紀要 第3号

国内大学におけるアクティブラーニングの組織的実践事例

参考4 「双方向型授業」(読売新聞2013年2月7日)

参考5 「学び改革急ピッチ」(日本経済新聞2014年4月7日)

参考6 「大学1年生難題で覚醒」(日本経済新聞2013年2月6日付)

参考7 CSCL:ネットワークを用いたグループ学習支援システム 大阪大学産業科学研究所 稲葉晶子

参考8 発見的学習活動における創発的分業を支援するCSCLシステムの開発

### 5. 議事内容

#### 1 平成26年度委員会活動の進め方について(資料①)

事務局より配布資料の説明があった。資料に関連して、背景事情である政府から大学に要求されている教育改革実行プランやグローバル人材育成に関する方策や、大学に期待されるアクティブラーニングや学長のリーダーシップ強化等についても説明された。

今年度は、能動的学修実現に向けた効果的な取り組み方策の研究を行うことが確認され、対話集会を実施することになった。対話集会の目的のひとつとして、私情協で作成した改善モデルを披歴しながら、教育熱心な先生方の授業実践例を紹介してもらうこととした。また、それに関する長崎大学の授業事例やFSPの取り組み等についても参考資料に基づいて紹介された。

#### 2 対話集会に向けた今後の研究の進め方について(資料②③)

資料に基づき、対話集会については次のように実施される予定である。

日程案 9月18日(木) 14:00~16:00

場所 青山学院大学青山キャンパス

(部屋は、50名ほど入れる可動式の机と椅子のある部屋)

取り組み事例の報告者 青山学院大学の岩井先生(MBAの授業事例)

京都産業大学の佐々木先生（学部講義の授業事例）

対話集会に関するその他検討内容

- ・謝礼 クオカード10000円程度／1報告
- ・教員だけでなく、職員も参加OK
- ・対話集会に関する情報を公開し、参考意見を投げられるようにしてはどうか。

### 3 その他

次回委員会の開催日時の決定 \*場所 私立大学情報教育協会事務局会議室

2014年6月6日（金）13:00～15:00

参考資料の補足説明や、講義やゼミにおける学生参加型の効果的な教育のネタに関する意見交換を行った。

その他留意事項 宮林委員、所属変更あり